

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また、医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

新規受託項目

● 百日咳菌 DNA

検査要項

検査項目名	百日咳菌 DNA
項目コードNo.	3751
検体量	後鼻腔ぬぐい液
採血容器	NO.30 滅菌スピッツ管・専用フロックスワブ
保存方法	凍結保存
検査方法	LAMP法
基準値	陰性
所要日数	3~5日
検査実施料	360点(D023「微生物核酸同定・定量検査」)
検査判断料	150点(微生物学的検査判断料)
外部委託先	株式会社エスアールエル
備考	<ul style="list-style-type: none">・後鼻腔ぬぐい液は必ず専用フロックスワブで採取し、滅菌スピッツにスワブを入れて凍結保存してください。・他項目との重複依頼は避けてください。・本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。・本検査は、関連学会が定めるガイドラインの百日咳診断基準における臨床診断例の定義を満たす患者に対して、LAMP法により測定した場合に算定できます。

受託開始日

● 平成 28 年 12 月 5 日(月) 受付日分より

※裏面をご覧ください

●百日咳 DNA

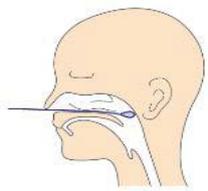
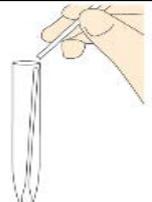
百日咳は百日咳菌の気道感染によって引き起こされる急性(気道)呼吸器感染症です。ワクチンにより予防可能な疾患ですが、年長児や既ワクチン接種者では非典型的な症状が多く、診断が困難となるケースが少なくありません。本検査はLAMP法を用いており、迅速かつ特異的に百日咳菌の核酸検出が可能であるため、他の呼吸器系疾患との鑑別や百日咳の早期診断等に有用な検査として期待されています。

関連する主な疾患

- ・百日咳

関連する主な検査項目

- ・百日咳抗体[EIA]

容器 専用フロックスワブ 貯蔵方法 室温 有効期限 1年	
採取方法 1. 綿球部分に触れないように、スワブの軸部分をつまんで取り出します。	
	2. 被験者の頭を動かさないようによく押さえ、その後スワブを後鼻腔に静かに挿入して粘液を採取します。
	3. 速やかにスワブを滅菌スピッツの中に入れ、スワブの柄にあるスリットを容器の縁にあてて折ります。
	4. スワブを入れたまま容器のキャップをしっかりと閉め、凍結保存にて提出してください。

参考文献

Kamachi K, et al: J Clin Microbiol 44(5):1899~1902,2006.(検査方法参考文献)

岡藤 輝夫,他:診療と新薬 52(12): 1133~1140,2015.